

第8回 UDTRY 冊子の検討（書面開催）

（1）プログラム

□日 時：1月25日（月）～2月1日（月） 意見受付

□内 容：

- ・今年度のワークショップの結果をまとめて、A4版12ページの冊子案を参加者に送付し、意見をもらいました。

（2）意見収集

以下のようなアンケート用紙を添付しました。

○江東区 UD TRY!（冊子案）をご覧ください、ご意見ご感想を教えてください。

今回の冊子は、初めてユニバーサルデザインを知る大人を対象としています。

※この質問シートに記載していただいても結構ですし、印刷した紙に直接書き込んでいただいても構いません。

1) 全体を一読した感想をお聞かせください

2) わかりにくい、難しいと感じたところがありますか？

3) わかりやすい、と思ったところがありますか？

4) P 2 をご覧下さい。

- ・このページでは「誰もが」と言ったときに、どのような人を想定しているかを例示しています。ここで載せた方以外に例示に加えた方が良いと思う方はいますか。あるいは、こんなイラストが良い、というアイデアはありますか（イラストの内容は言葉で説明していただいてもかまいません）

5) P 3 をご覧下さい。

- ・このページでは、まちを使いやすくするためのイメージを例示しています。ここで載せた方以外に例示に加えた方が良いと思う「まちの整備」や「人の対応」のアイデアはありますか。あるいは、こんなイラストが良い、というアイデアはありますか（イラストの内容は言葉で説明していただいてもかまいません）

6) P 8～11 をご覧下さい。

- ・ここで示したシーンは、ワークショップで出た意見から作成しています。別のシーンを取り上げた方がいいなどのご意見はありますか？

7) その他、なんでも自由にお書きください

書面開催資料

UD TRY!
 「UD (ユニバーサルデザイン)」という言葉をはじめて聞く人に読んでもらいたい

目的達成から考える
**ユニバーサルデザインの
 まちづくり**

2021.1.26 案
 デザインはこれからです
 イラストは仮です

ユニバーサルデザイン (UD) まちづくりとは

江東区では、「年齢・性別・国籍・能力などの違いを尊重しつつ、誰もが使いやすく安全で安心な環境をつくるため、住民と事業者および自治体が協働で進めるまちづくり」と定義しています。

「誰も」ってどんな人？

たとえば

- 赤ちゃんから高齢者まで
- さまざまな国籍や宗教
- 男性、女性、性的マイノリティ (LGBT 系)
※しんせつ(女性同性愛者)、「アイ(男性同性愛者)」、「トランスジェンダー(両性愛者)」、「トランスジェンダー(性別異体、性別違和)の語文字
- さまざまな特徴や能力
障害がある人ない人、障害が重い人軽い人、地図を読むのが特にな人苦手な人
- あなた

多様な人がいて、それぞれに違いがあります。

「使いやすい安全で安心な環境」ってどんなこと？

たとえば

- まちの整備
 イラスト
 エレベーターの前に申しす、エスカレーター、階段には誘導線
 建物が入りやすい (入口の幅が広い、段差がない、自動ドアなど)
 階段が直つてもスムーズに移動できる (エレベーター、エスカレーター、階段が通れるなど)
- 人の対応
 イラスト
 ベビーカーを折りたたまずに電車に乗っている人
 凍って困っている居り人の目
 困っているかと思ったら声をかける
 その人の立場になって考える
 わかりやすく伝える (ジェスチャー、指さしボードの活用など)

まちの整備と人の対応を組み合わせ、誰もが安全安心にまちを使い、やりたいことができること (目的達成) が重要です。

まちの整備は、少しずつ進んでいます。でも、大切な視点が欠けてしまうことがあります。使う人の立場で考えていますか？

UD 4コママンガ ランチに行こう

その1
 入る店はどう
 大きく意味しうたけど、入口は狭い
 AさんBさんは3つの中から選ぶ
 特設メニューがない
 入りやすいけど、どこでも同じようなメニュー

その2
 どの店に
 手伝
 Cさんにも選択肢が増えた
 どの店に
 Aさん、Bさん、Cさん

車いす利用者だけ、選択肢が少ないです。「車いすを使っているから仕方ない」って思いませんか？
 環境や人の意識が変わることで、他の人と同じ選択肢から選ぶことができます。

左の二つの事例、何が違っていたのでしょうか？その1では「障壁」はどこにあったのでしょうか？Cさん自身ですか、それとも・・・

- 《医学モデル》と《社会モデル》
 《医学モデル》
 この例では、Cさんが車いすを使っていることに原因があると考えられます。このように「障壁」は、本人の側に原因があると考えることを《医学モデル》と呼びます。
 《社会モデル》
 一方で、Cさんが、お店に入れないのは、環境側の問題があるという考え方もできます。なぜなら、お店が変わったり、支援する人がいることで、お店に入れるようになったからです。これを《社会モデル》と呼びます。
 今までは、「障壁」は主に本人の側に原因がある《医学モデル》から捉えられてきたことが多かったのですが、最近では「障壁」とは(本人の側の原因)と(社会側の原因)の相互作用によって生じるとする考え方が主流になってきました。つまり、「障壁」を無くするためには、「社会側」も変えなければならぬのです。
- 平等と尊厳
 ユニバーサルデザインとは、すべての人に平等を意味した考え方です。国連の障害者権利条約では、障害を理由とした差別を禁止しています。「〇〇があるから、〇〇だからしょうがない」という考え方は、その人の尊厳を損なう人権を侵害してしまうのです。
- 目的の達成から考える
 平等とは、誰にも同じ条件にしたり、特別扱いしたりすることではありません。その人にとってのやり方で、やりやすいことができる、そういう環境をかんがえていく必要があります。たとえば、見えにくいけれど風景を楽しんだり、聞こえないけれどみんなと同じく聞くことができます。どうやって楽しみたいの、って？ 次のページから、具体的に考えてみましょう。

(3) 意見の反映

江東区 UD TRY! ユニバーサルデザインのまちづくり冊子 修正箇所

p 1 (表紙)

・「目的達成」がいきなりあるとわかりにくい、という意見が複数ありました。

➡修正 「目的達成から考える」→「やり方が違う」を考える

P2 (導入)

・「誰もが」との切り出し方は唐突。『ユニバーサルデザイン (UD)』まちづくりとは (誰もが暮らしやすいまちづくり) などが必要。

➡修正 『ユニバーサルデザイン (UD)』まちづくりって何だろう

→誰もが使いやすいまちをつくること

P2 ~ 5 (導入)

<構成>

・自分視点で進めて行きながら、ユニバーサルデザインだったと学ぶストーリー。登場人物は障害者に拘わらず、背が高い低い、地図を見るのが苦手、老化現象として難聴老眼、日本語苦手など。あっ私にもあてはまるという人物。障害者のために特別にやっけてあげている感ではなく、私も関係している感じを出す。

・定番としては、トイレ、横断歩道、電車・バスに乗る時、物を買う時等の設定が必要。配慮が不足するところではないか。

<だれ?>

・自分がその中の一員である視点がもう少しないとわからない。

・障害者に特化している印象。

・外国人という視点も含めると広がりがある。

・妊婦さん、子育て中の方、内部障がいのある人等も含める。

・「~あなたにもきっとあります~」を最後に持ってくるのではなく冒頭にもってくる。

・様々な障害のことが割と簡単に触れられている割に LGBT 等が詳しくなっている。

・生活者という大きな広がりをごどこかごうながせればと~おもいました。

➡修正

・ガイドする人を登場させ、仲間を増やしながまちツアーをする中で UD について理解する流れを考えました。

・足が痛い、日本語が苦手など、障害に特化しない状況も取り上げました。

・また似たような状況に困っている人を「だれもって?」として列挙しました。その中には、ご意見のあった子育て中の人、妊婦さん、高齢者などを入れました。

・このページの最後に、「あなたにもありませんか?」の問いかけを持ってきました。

P6 (「やり方が違う」の説明)

・旧 p12 にある「できないからあきらめるのではなく、それぞれに応じたやり方を認め、で

きるような社会環境を工夫し、時には人が手助けをする。できないことがマイナスになるのではなく、いろいろな工夫でできるようになった時、私たちは少しUDに近づけたと言えます。」を最初に伝え、だからこそ、普段の些細な行動がどう違うのか改めて読み解いて考えてみようということを打ち出す。

➡修正 導入後に持ってきました。

p 7～10 (その他の工夫)

・登場人物の並び順は、読み手に健常者が多いと想定すると、もしかしたら逆(健常者→障害者)の方が分かりやすいように思う。

➡修正 逆(健常者→障害者)にしました。

・解説が、ページによって分析的な話や、「だそうです」という表現に違和感を覚えた。誰か当事者の言葉をそのまま載せるのも、このワークショップのウリだとは思っているので、当事者の声を載せるのであれば、それで揃えてもいいのかなと感じた。

➡修正 一般的な話として揃えました。

・風景を楽しむ場合、視覚障害の方は、晴眼者が気づかない音・香り等様々なものを感じて風景を楽しんでいる。この表現だと晴眼者より劣るような誤解を与える。「風景を楽しむ」ではなく、「高層タワーを見る」など限定した表現の方が良い。

➡修正 風景を楽しむを残して、音や風に敏感であることを追記してみました。

・内部、知的などの他障害が入って良かった。障害の簡単な説明などは必要ないか？

・知的・精神の障害がどんな障害であるのか説明したうえで「Oさんの特徴はOO」と例示したほうが入りやすい。

➡修正 説明を入れるようにします

・旧p 11「私たちにできること」は、もう少し具体的に書かないと読み手は何を取り入れたら良いのかわからないのではないのでしょうか？

➡修正 スマホを使って映像の撮影、音の録音をして他の人共有することは、日常的にやっている人も多いでしょう。

p 11 (用語解説)

p 12 (江東区の取り組み)

